

荒川区議会議員

「体は細いが、芯は太い。」

平成 20 年初夏号

清水ひろし

民主党・市民の会

からの手紙



所信表明に対し、初の本会議質問！ 西川区長「感動を覚えた。」



西川区長に対し、初の本会議質問に立つ

荒川区議会第1回定例議会の初日、西川区長の所信表明説明に対し、会派を代表して当選後初めての本会議質問に立ちました。

議員としての思いや考え方を申し添えたうえで、「融合」ということをテーマに六項目にわたり質問をし、区長からは冒頭「若い世代の代表として真剣な姿勢で質問をいただいたことに、感動を覚えた」と答弁がありました。

また、予算特別委員会においても会派を代表して総括質疑に立ち、区政への提言をいたしました。

～主な質問内容～

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 地方行政のあり方、官と民の関わり方 | ④ 避難所となる学校体育館の空調設置 |
| ② カーシェアリング（＊）の促進 | ⑤ 放課後学校施設の有効利用 |
| ③ 区内企業への個人情報対策支援 | ⑥ 日暮里地区の今後の展望 |

＊カーシェアリング…車を所有せずに会員登録をした人が車を共同利用するシステム

清水ひろし（33歳 S50（1975）年5/7日生 卯年 A型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員。現在は「民主党・市民の会」政務調査会長、建設環境委員、交通体系・拠点開発調査特別委員として活動中。現職最年少荒川区議。

学校の有効利用、充実した放課後を提言！

～予算特別委員会総括質疑にて～



パネルを使って質問

平成 20 年度の実質予算審議を行う予算特別委員会において初日の総括質疑に立ち、学校の有効活用と、子どもの充実した放課後の過ごし方の視点から区長はじめ関係理事者へ見解を伺いました。

7～8 割の子どもが「習い事」に通っている現状を説明したうえで、現在学校で実施している学童クラブや放課後子どもプランの中において、授業料を納めるかたちで地域の先生による「習い事」を導入することを提言しました。

なお、この質疑はケーブルテレビにて放送されました。

当選から 1 年、区政報告会を開催！

4/8（火）、昨年 4 月の当選から 1 年をむかえるにあたり、これまでの活動報告を行いました。

当日は雨風の激しい悪天候にもかかわらず、多くの方にご参加をいただきました。また、河村たかし衆議員、松木けんこう衆議員、山根隆治参議員、川合孝典参議員、木村たけつか民主党東京都第 14 区総支部長も出席し、それぞれから激励の挨拶がありました。

当選から 1 年間の活動を振り返るとともに、地方自治のあり方や第 1 回定例議会の報告を行いました。

また、区民の最も関心の高い防災対策に触れ、一番有効なことは建物の耐震化であることを述べ、区の制度利用を説明しました。

「納得・満足の実感できる荒川区」へむけて、2 年目の活動にこれからも精進して参ります。



上段左から河村議員、本人、松木議員

下段左から山根議員、川合議員、木村支部長

民主党・市民の会 清水ひろし

〒116-0013 荒川区西日暮里 2-20-1-1201

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com